

みらい

唐津赤十字病院広報誌



2016 Vol.09

JANUARY

第9号

We hope a "Bright Future" 地域の明るい未来を願って



02 【お医者さんに聞きました!】



「知っていますか?肺がんのこと」

～喫煙の影響と早期発見の重要性～

04 【トピックス】新病院建設工事進捗報告

05 【活動報告】10月～11月

06 【各科紹介】麻酔科

07 【認定看護師紹介】集中ケア、皮膚・排泄ケア

08 【くすりの話】子どもによる医薬品の誤飲事故に注意!

【健康レシピ】かぶら蒸し



ご自由にお持ち下さい

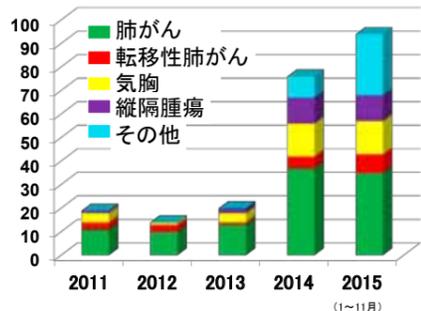
TAKE FREE

唐津赤十字病院

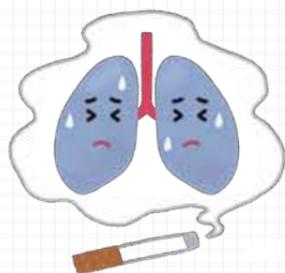
お医者さんに聞きました!

「知っていますか? 肺がんのこと」

当院の呼吸器外科手術症例数



～喫煙の影響と 早期発見の重要性～



肺がんは、日本のがんの死亡数では男性1位/女性2位と非常に多く、自覚症状がないため進行がんとして発見されることが多い危険な疾患です。肺がん死亡数(厚生労働省大臣官房統計情報部)の推移を見ると、1997年:男性3万5700人(部位別がん死亡数1位)/女性1万3294人(同3位)→2010年:男性5万395人(同1位)/女性1万9418人(同2位)と死亡数は年々増加しています。人口の高齢化とともに高齢者の占める割合が年々増え、さらには女性の発症数も増加の一途を辿っています。

肺がんの原因

喫煙が第一の原因と考えられています。タバコの煙には多くの発がん物質が含まれています。**喫煙指数**(一日のタバコの本数×喫煙年数)が600以上(1日20本を30年間)の人が重喫煙者で肺がんの高危険群となります。また喫煙開始年齢が早いとさらに危険率が増加し、男性に比べて女性は喫煙による影響が大きいこともわかっています。

現在も喫煙を続けている人は非喫煙者の約5倍のリスクがあり、また過去に喫煙をしていた人は約2.5倍のリス

クがあります。本人がタバコを吸わなくても周囲に喫煙している人がいるとその影響が問題となります。国立がん研究センターの平成13年の研究によると、たばこを吸わない女性の肺腺がんの37%は夫からの受動喫煙が原因と推計されています。

肺がんの症状・特徴

たまたま咳などの症状で胸部レントゲン検査を受けて肺がんが見つかることはありますが、早期の肺がんに自覚症状はほとんどありません。咳や血痰、胸部の疼痛などが肺がんの症状ですが、このような症状は進行がんです。

肺がんは進行がんが発見されることが多く、他の部位のがんと比べて生物学的に悪性度が高いと考えられています。早期に他臓器に転移することが多く、リンパ節に転移がない早期がんであっても他のがんに比べて術後再発の可能性が高いのが特徴です。

肺がんの早期発見

肺がんの診断は第一に胸部レントゲン検査です。被曝量が少なく有効な診断法ですが、必ず肺がんが見つかる

唐津赤十字病院 呼吸器外科部長

加藤 雅人

プロフィール

福岡市出身
 福岡県立嘉穂高校 卒業
 鹿児島大学 医学部 卒業
 日本外科学会 認定医・専門医・指導医
 日本消化器外科学会 指導医
 日本呼吸器外科学会 専門医 他
 平成26年4月より唐津赤十字病院 呼吸器外科

profile

という保証はありません。最近、胸部レントゲンでは見つからない肺がんが多く見つっていますが、それはCTスキャンによるものです。胸部レントゲンに比べて被曝量が多くなりますが、発見率は胸部レントゲンの20~30倍です。喫煙指数の高い人、胸部レントゲンで少しでも異常が疑われる人は積極的にCT検査を受けた方がよいと考えます。

喀痰の検査も有効ですが、早期の肺がんの発見にはあまり有効ではありません。PET検査は最近普及してきた検査法ですが、肺がんに限らずがんの診断に非常に有効な反面、検査料が高く、1cm以下の小さながんでは発見できない場合があります。

肺がんの治療

早期肺がんの治療法の第一は手術療法です。早期肺がんであれば手術で完治が期待できます。リンパ節に転移のない肺がん、がんの大きさが3cm以下:1A期(早期肺がん)、3cm以上5cm以下:1B期(比較的早期の肺がん)です。手術による5年生存率は1A期:約80~90%、1B期:60%程度で完治できます。現在では胸腔鏡下手術で

肺を切除することが可能で、肋骨を切らずに小さな手術創(1~3cm)で肺を切除するため、術後の痛みが少なく術後7~10日程度で退院可能です。**当院での肺がんの手術はほぼ100%を胸腔鏡下手術で行っています。**

一方、手術不能な進行した肺がん(3A~4期)は化学療法や放射線療法を行います。現在は抗がん剤の進歩で手術不能や再発した患者さんでもがんの組織型によっては長期生存が期待できる症例もあります。例えば肺がんの組織型の中でも「腺がん」は抗がん剤が効きやすい肺がんですが、喫煙者而非喫煙者とは使用できる抗がん剤の種類や抗がん剤の効き方に大きな違いがあります。非喫煙者の肺がんは手術成績も良好で使用できる抗がん剤の種類も多く、その効果も期待できます。逆に喫煙者の肺がんは手術を行っても再発しやすく、抗がん剤も効きにくいのです。

また、残念ながら肺がんを予防できる効果的なものはまだありません。60歳以上の高齢者や40歳以上の喫煙者、傷病歴のある人など**肺がんのリスクの高い人は症状がなくても定期的に検査、特にCT検診を受けることが早期発見には必要です。**

お医者さんに聞きました!

お医者さんに聞きました!



正面玄関側(南西)からのイメージ

新病院建設工事進捗報告



南西から本館全景



南西から本館全景



正面玄関前(南西)

❖ 平成27年11月2日工事状況

10月下旬に最上階である7階立上げ工事が完了したことで、病院本館全体の躯体(主要構造部)工事が完了しました。

今後は躯体工事にあわせてすでに取り掛かっている、外装(外壁タイル貼り・塗装、防水、テラス・デッキ等)、内装(設備・家具取付、内部装飾等)および、外構(庇、フェンス、側溝等)を中心に工事を進めていきます。

❖ 平成27年12月28日工事状況

外壁の外装工事が完了し、工事用足場が一部を残し撤去され、本館外観が直接見て取れるようになりました。

玄関周りの庇工事をはじめ、外構工事も着々と進められてられています。

また内部でも、内装工事・設備工事が全館にわたり仕上げ段階の作業を行っています。



北から本館全景(唐津バイパス長谷交差点越し)

工事期間中、近隣住民の皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

当院から初めての派遣です 出発式を開催

10月
20(火)

10月20日(火)に看護師の中村亜希子さんと田邊桃香医師の出発式を開催しました。

中村亜希子さんは10月26日から1か月間、福島第一原発事故により福島県いわき市内に避難している浪江町民に対する健康調査支援事業のため派遣されます。

また、田邊桃香医師は11月1日から1か月間、長野県佐久市の川西赤十字病院へ派遣されます。

川西赤十字病院は、医師不足により安定した地域医療の提供が困難な病院です。

出発式では院長からの激励の言葉の後、お二人からそれぞれ意気込みを語っていただきました。



もし、その時が近づいたら… 市民公開講座を開催!

11月
8(日)

平成27年11月8日(日)唐津市高齢者ふれあい会館りふれにて、平成27年度地域がん診療連携拠点病院第6回唐津赤十字病院市民公開講座「もし、その時が近づいたら…」を開催しました。

がん患者さんの治療・療養の具体的な症例を提示後、河畔病院前里先生に「緩和ケア病棟」について、あおぞら胃腸科笠原先生に「訪問診療と在宅医療」について、また、地域医療に尽力され「赤ひげ大賞」を受賞された二ノ坂先生に「在宅医療・介護と地域の連携協力」について講演いただきました。

300名の参加者一人一人が「もし、その時が近づいたら、自分はどうしたいか」を考える機会となりました。



ACTIVITY REPORT



活動報告

10月~11月

もしも、の時に備えます 原子力防災訓練

11月
28(土)

平成27年度県の原子力防災訓練が平成27年11月28日(土)8:00~13:30に行われ、当院からも15名参加しました。

訓練内容は玄海発電所内の放射線管理区域内での汚染を伴う負傷者の発生を想定して、当院への搬送、必要な被ばく医療を行いました。

また、より高度な被ばく医療が必要な患者が発生した場合を想定し、当院から長崎県の高度被ばく医療支援センターにヘリによる搬送も行われました。



楽しく体験!楽しく学ぼう医療安全! 体験型医療安全管理研修会

11月
30(月)

平成27年11月30日(月)当院にて、厚生労働省がすすめている「医療安全推進週間」の企画のひとつとして、体験型医療安全管理研修会を開催しました。

体験型の医療安全研修会を行うのは当院初の試みで、7つのブースを体験しながら、職種を超えて医療安全について学び、考えることができました。

今年度は、全職員のうち354名(64.4%)、延べ人数では870名の参加があり、会場は一日中楽しく、にぎやかな雰囲気の中にもまじめな表情をうかがうことができました。

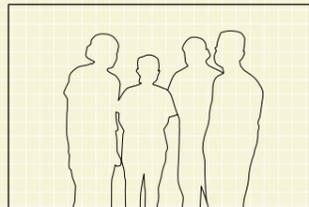


■ スタッフ紹介

検見崎 裕 麻酔科部長
(平成元年/麻酔科)

白武 孝久 麻酔科副部長
(平成6年/麻酔科)

嘉手川 繁登 医師
(平成16年/麻酔科)



検見崎 門田(研修医) 嘉手川 白武

◆ 診療実績

平成26年度	DATA
全身麻酔	431例
全身麻酔+硬、脊、伝	915例
硬膜外麻酔	7例
脊椎くも膜下麻酔	61例
脊椎くも膜下硬膜外併用麻酔	74例
その他	10例



麻酔科の紹介

麻酔について

今回、麻酔科紹介の機会を頂きましたので、手術をお受けになる患者さんが安心して手術に臨めますように少し麻酔のお話をさせて頂こうと思います。麻酔の大きな要素は、①眠ること②痛みがないこと③手術中に体が動かないこと④有害な体の反応を抑えることです。それぞれに作用する薬を点滴や呼吸あるいは神経の近くに注射をして投与しますが、困ったことに薬の影響で呼吸や循環の抑制がおきてしまいます。例えば②の痛み止めの薬は適正な量を投与しないと呼吸数が少なくなったり、血圧が下がったりしますので患者さんの状態をみながら慎重に投与する必要がありますし、③の体を動かなくするための筋肉を緩くする薬を投与すると呼吸の筋肉も麻痺しますので人工呼吸が必要になってくるという具合です。注射一本で手術が行えるような夢のような薬があればいいのですが、いろいろな集中管理が求められます。その他輸液や体温管理、また糖尿病の患者さんの場合の血糖管理など合併症をもった方では特有な管理が必要になってきます。以上のような視点より麻酔という診療科が安全な手術を行う上で必要不可欠なものとなり、近年著しい発展を遂げてまいりました。そして麻酔はほぼ安全なものとなり現在では気持ちよく目覚め、痛みや吐気がないというような麻酔の質の問題、また麻酔薬による重要臓器の保護といった研究が進んでいます。当院でも手術後の痛み止めの方法として患者さんご自身が痛みをコントロールできるようなシステムを採用しています。完全で快適な周術期が送れますように日々努力、研鑽をつんでいます。

手術室紹介

手術室は6室あり、一部はクリーンルームという清浄度の非常に高い部屋で人工関節置換などの手術が行われています。スタッフは麻酔科3名、手術室専属看護師が師長以下16名です。平成26年度の総手術件数は2317例、そのうち麻酔科担当は1498例でした。手術室看護師の業務は、手術器具の受渡し等の手術助動や患者さんの精神面のサポート、また全身麻酔で眠っておられる患者さんの体温管理や体の保護を行うなど非常に専門色の強い仕事です。手術室のスタッフはあまり表に出ることは少ないですが、患者さんが安心して快適に手術をお受けになられますように外科医を中心にチーム医療の一員としてプロ意識をもってがんばっています。

認定看護師紹介

✿ 集中ケア認定看護師

市丸利恵子

集中ケアとは、突然の疾病や事故で生命の危機的状態にある患者さんとその御家族に対して看護を行います。例えば脳神経・呼吸・循環に障害があり、緊急手術や生命維持装置を必要とされる患者さんの機能回復や合併症の予防を目的としてケアを提供します。医師・看護師だけではなく、薬剤師・理学療法士・検査技師・栄養士・医療ソーシャルワーカーなど様々な職種のスタッフでチーム医療を展開しています。



入院とは非日常的な生活であり、突然の発症によって重篤な症状に至り、身体面だけではなく精神的な支援は必要不可欠なものです。患者さんの中には自分の置かれた状況に戸惑い、入院に納得できずに悩み、適応できずにせん妄状態に陥れる方もいます。そのような患者さんに対して身体的・精神的・社会的側面を含めた治療や看護が必要になります。

また患者さんが意識障害にあり、その予後に大きく影響する手術や生命維持装置の使用をするかどうか、御家族の方に代表して決断して頂くことがあります。自分が決めた内容が本当に良かったのか、自問自答しながら看病をされている御家族に対して精神的・社会的ケアを中心に看護の提供を行います。

✿ 皮膚・排泄ケア認定看護師

百武和子

平成21年 皮膚・排泄ケア認定看護師を取得しました。皮膚・排泄ケア分野の対象は新生児から高齢の方まで幅広い年齢層に関わり特にストーマ(人工肛門、人工膀胱)や褥瘡(床ずれ)、そのほかスキンケアに関することを専門としています。今年度より皮膚・排泄ケア認定看護師専従となり専門とする分野を中心に組織横断的に活動しています。毎月第1、3金曜日にはストーマ外来を担当しストーマを保有されている方の相談や生活指導、また訪問看護ステーションや医療施設のスタッフの方への指導も行っています。



またNST(栄養サポートチーム)、褥瘡対策委員会に所属し適切なケアが提供できるよう多職種と協働しながらチームで関わっています。当院には私の他に6分野(緩和ケア、感染管理、集中ケア、摂食・嚥下障害看護、がん化学療法看護、糖尿病看護)8名の認定看護師が勤務しています。それぞれの認定看護師とも協働しながら地域の皆様が安心して日常生活が送れるように近隣の医療施設との連携も図っているところです。これからも院内や地域との連携体制を図っていきたく考えていますのでよろしくお願いいたします。



保護者の皆様へ

子どもによる医薬品の誤飲事故に注意!!

子どもによる大人用の医薬品の誤飲が多く発生しています。子どもの行動の特徴をふまえ、家庭における医薬品の保管については十分注意しましょう。

特に子どもが誤飲すると入院等の重い中毒症状を呈するリスクが高い医薬品

向精神薬 血圧降下薬 気管支拡張薬 血糖降下薬 など

家庭での医薬品の保管のポイント

- ◆ 子供の手の届かない、見えない所に保管しましょう
- ◆ 保管する場合には、鍵のかかる場所に置いたり、取り出しにくい容器に入れるなど、複数の対策を講じましょう



子どもが医薬品を誤飲した際の相談機関(例)

中毒110番・電話サービス(通話料は相談者負担)

【連絡先】 大阪中毒110番(365日24時間対応)

つくば中毒110番(365日9~21時対応)

電話:072-727-2499

電話:029-852-9999



☆詳しくは消費者庁ホームページをご覧ください(http://www.caa.go.jp/safety/pdf/141219kouhyou_2.pdf)



かぶら蒸し

(1人分) 190キロカロリー 塩分0.9g



かぶらは、すずなとも呼ばれ「春の七草」のひとつに数えられています。でんぶんの消化酵素として働くアミラーゼを含んでおり、弱った胃や食べすぎ、胸やけの改善に効果があります。また、ビタミンCも含まれており、冬の風邪予防や疲労回復などに効果的です。

[監修] 管理栄養士 高崎 桂子 調理師 木下 きよ

作り方

- 1 白身魚に塩・酒で下味をつけておく。人参は花型に切り、下茹でする。
- 2 かぶはすりおろして軽く汁をきり、片栗粉を混ぜる。
- 3 卵白は塩を加え、しっかりと泡立て、(2)を混ぜる。
- 4 魚の汁気をふいて器に入れ、強火で3分蒸す。
- 5 (3)を(4)の魚にかけ、人参を添え、さらに10分中火で蒸す。
- 6 鍋にだし汁・しょうゆを煮立ててしめじを加え、水溶き片栗粉でとろみをつける。
- 7 (5)に(6)のあんをかけ、彩りよく水菜を添える。

材料(4人分)

白身魚…… 60g×4 (鯛など、切り身)	片栗粉…… 小さじ2	水菜…………… 20g
塩…………… 0.4g	卵白…………… 2個分	だし汁………… 300cc
酒…………… 大さじ1	塩…………… 0.4g	しょうゆ…… 大さじ1
かぶ…………… 400g	人参…………… 20g	片栗粉…… 大さじ2
	しめじ………… 40g	水…………… 大さじ2

❖ 編集後記

11月には唐津くんちで賑わい、暖かい秋も過ぎ、いよいよ寒さも厳しくなってきました。古くより風邪は万病の元と申しますが、万全な体調管理を心掛けつつもなかなか一筋縄でいかないことを痛感する日々です。

広報とは、人と人が有機的に繋がっていくためにできることを考える仕事だと感じています。ぜひ『みらい』についてのご感想やご意見をお寄せください。



唐津赤十字病院

日本赤十字社

〒847-8588 佐賀県唐津市二太子1-5-1 TEL.0955-72-5111

唐津赤十字病院

検索



[編集・発行] 唐津赤十字病院広報推進室

[表紙のひと] 南2階病棟のみなさん

広報推進室 福本 望